（様式1）

学校番号	17	学校名	茨城県立水戸第三高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・県の教育方針

校訓

叡智（すぐれた知性）・清純（清く美しい心）・自彊（自ら努め励む）

学校の教育目標

「三高プライド」を持ち、未来の社会を担いうる人財を育成する。
＊三高プライド＝「三高スタンダード」に基づいた、物事に対する取り組みの主体性、他者としなやかに共生しうる協調性
＊三高スタンダード＝知力・知識力、思考力・探究力、協働力、コミュニケーション力、自己実現力

生徒の実態

・水戸駅に近く、県内の広範囲から通学している。
・真面目で素直な生徒が多く、大半が大学進学を希望している。
・総じて受動的傾向が強く、自己実現の目標設定は低めである。
・部活動加入率は高いが、軽度の活動を望む生徒が増加の傾向にある。

保護者の願い

・安全・安心で豊かな高校生活
・生徒の健全な成長
・生徒の自己目標の実現
・県内・隣接県での進学・就職

道徳教育重点目標

基本的生活習慣を確立し、さわやかな挨拶と適切な清掃を励行し、他者と自己をともに尊重する、心身の調和のとれた生活の実現に努める。多様な価値観の存在を前提に、主体的に判断・行動し、よりよい社会の形成者として生きる道徳性を養う。

地域の実態

近隣に茨城大附属小、水戸市立第二中、県立水戸第一高のある文教地区。高学力層は市内の県立高に流れる傾向が高い。

各教科・科目

国語	国語で的確に理解し、適切に表現する力とともに、抽象的思考能力や他者理解の能力育成を図る。
地歴	歴史・社会・文化に関する興味や認識を高め、幅広く現代の諸課題を考察できる資質・能力の育成に努める。
数学	他者との協働学習を通して数学的に考察することの価値を知るとともに、真理を重んじる態度を育てる。
理科	自然法則や摂理に関する知識・理解を深め、自然科学に対する興味関心や畏敬の念を喚起する。
保体	生涯スポーツに繋がる知識や運動の習慣を身に付け、協働やルールの大切さを重んじる態度を育てる。
芸術	芸術に関する基礎的な知識や技術を身につけた上で、心豊かな生活や社会を創造していく態度を育成する。
外国語	外国語学習を通じて自己表現の手段を豊かにすると共に、多様な価値観や異文化等に対する理解を深める。
家庭	社会人としての生活の基本を学ぶと共に、男女が協力して主体的に生活を創造する態度を育てる。
情報	情報活用のための知識や技能の習得に加え、情報社会と人との在り方について理解を深める。
総合的な探究の時間	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・ 総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。
専門	専門分野の知識・技能の修得を通して文化や歴史に関する造詣を深める。

特別活動

ホームルーム活動

各教科および総合的な探究活動において養われる主体的・協働的・横断的な学力を活かしながら、ホームルーム担任の指導助言のもとに、道徳的判断力や道徳的実践意欲と態度を育成する。さらにホームルームにおいて、現実の人や集団との関わりを通して自主的活動を展開し、個性の伸長に努める。それぞれが民主的運営手段や態度を身につけ、高校生活を有意義なものにする。

公民科

公共

人間としての在り方生き方についての自覚を促しながら、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質・能力を、「幸福、正義、公正」の視点に立ち、「社会的な見方・考え方」を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して育成する。

生徒支援

・生徒が三高生としてのプライドを持ちながら、批判的視点の上に自主的・継承的にルールを守れるよう、自己形成を図る。
・安心・安全な学校生活の基盤作りとして、決まり事に対する教職員間の共通理解を深め、共通の指導体制を構築する。
・保護者や外部関係機関との連携による協力関係を醸成し、学校以外の視点を指導に活かす。
・男子生徒の増加という新たな状況や、他の多様性も踏まえた新たな指導の視点を開発する。

家庭との連携

・生徒支援に関わる研修会等への参加及び保護者への生徒支援協力依頼を通して、家庭教育力の向上に努める。

・保護者へ定期的に学校の生活状況を知らせ、改善のための協力を依頼する。

・保護者との連携、情報交換による協力関係を構築する。

地域社会との連携

・地域主催の祭りやボランティア活動への参加

・地元有識者による講演会の企画

・インターンシップ（看護体験等）を活用し、進路に対する意識を高め、視野を広げる。